

霧多布湿原トラス

この湿原をこどもたちへ



2010年5月

No.90

い・る・ど・り

牛横断注意

放牧の頃となりました。広い牧草地で牛が草を食んでいる光景は北海道らしいし、また心が和むものです。

街の人に「放牧された牛を見ることが少なくなったね」と言われる事があります。我が家の周りでは、放牧している農家が多いのであまり気にしていませんでしたが、町内の国道を走っても道路脇に牛の姿を見る事が少なくなりました。本州から来た人には記念撮影の場でもある「牛横断注意」の標識。かつて牛が横断していた跡、となっている場合も多いようです。この標識が北海道の産業遺産にならないようにしたいですね。

釧根地域は草地酪農地帯なので、放牧が普通に行われてきましたが、全国的に見れば放牧をしている農家は「絶滅危惧農家」と言われたりもします。乳量が非常に多くなった今の牛では管理が難しかったりする為でしょうか。

放牧地で庇陰樹として活躍していた木々や独立樹（一本桜など）も放牧をやめて採草地になると、作業の邪魔物になっていつの間にか姿を消してしまったり、また牧柵が無くなったりして風景が変わっていることがあります。

美瑛の例を出すまでもなく、農村の風景は農家が作り出しているものです。放牧の光景に限らず、通りがかった人が立ち止まって景色を眺めたり、写真を撮ったりするような素敵な風景がたくさん増えるといいですね。



西円朱別 菅井 喜久雄

陽だまり 車ボランティア

ゴールデンウィークが過ぎて、車のタイヤ交換は終わりましたか？今年は寒い日が続いて、いつ換えようか・・・と迷った方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

湿原センターには公用車が3台あります。センターのスタッフは、「車は走ればいい」という、車の整備に無頓着な人が過半数を占めていて、センターにある車は少し可哀そうです。それを見かねたある方が、「ボランティアで車の面倒を見てあげるよ」と名乗り出てくれました。

この季節になると、颯爽とつなぎ姿で現われて、タイヤ交換もサッサッと手早くやってくれます。ワゴン車の大きなタイヤもものともせず、私なんかは傍で見ていて「おお～！スゴイ、速い！」などと口だけで、あんまり役に立っていません。それでも快くタイヤ交換を毎回やってくれます。

湿原センターは、多くの方に支えられていて、無知無力な私たちを助けてくれます。車の整備の他にも、木道の補修にたくさんの人が集まってくれたり、お正月の餅つきをするのに、餅をついたり丸めたりするのを手伝ってくれたり・・・数えきれないほどお世話になっています。多くの方に支えられていることに感謝しつつ、もうちょっと自分でできたらなあ、と思いながらも、色々な人と何か一緒にやるのは、世界が広がっておもしろいな、と感じながら日々を過ごしています。（美奈）

「陽だまり」では霧多布湿原センターの活動の様子を伝えていきます

はまなかグルメ 第25品 大豆の甘辛炒り

4月のワンデイシェフは「キッチンるらん」の大豆いっぱいランチで、おからのコロッケや、呉汁などの料理が登場しました。その中の、これはビールのおつまみにピッタリと思う料理を紹介します。大豆を煮て澱粉をつけて炒って、甘辛く味付けをするのですが、とってもおいしくいただけます。今日の晩酌のおつまみにぜひどうぞ。（美奈）

材 大豆：適量
しょうゆ：大さじ1
砂糖・酢：各大さじ1
料 油・澱粉：適量

作 大豆を一晩水に浸す
り 灰汁を取りながら程良い固さに煮る（汁毎冷ます）
方 ペーパー等で水気を取る
澱粉をつける
フライパンに少し多めの油を入れ、表面がカラッとなるように炒める（大豆がバラバラになる様に）
醤油・砂糖・酢の合わせタレに絡める（酢が苦手な方は半量に）

レシピ提供
キッチンるらん
池田 美恵子さん